

特定非営利活動法人

日本小児循環器学会 理事会 (2013.8-2015.7)

2014年度第4回(最終)理事会 議事録

日時：2015年7月15日(水) 12:00~14:30

場所：ホテル日航東京 1階 ジュピター

【理事会構成員】理事総数：20名、出席理事：20名

理事長：安河内聡

副理事長：角秀秋

理事：市田蒔子、小川俊一、小山耕太郎、賀藤均、鎌田政博、坂本喜三郎、佐地勉、
佐野俊二、白石公、住友直方、土井庄三郎、富田英、中西敏雄、丹羽公一郎、
檜垣高史、三谷義英、山岸敬幸、山岸正明

監事：八木原俊克、新垣義夫

幹事：鮎澤衛、深澤隆治

【議事の経過の概要および議決の結果】

1. 開会

定刻に安河内理事長が議長となり、定款第27条2項の定足数を満たしている旨の報告がなされ、本理事会の開会が宣言された。続いて議長から議事録署名人として住友直方理事、土井庄三郎理事が指名され、全会一致で承認された。

審議に先立ち、議長からこの1年に亡くなられた会員の報告がなされた。

(名誉会員) 小佐野満氏

(特別会員) 奥秀喬氏、城谷均氏、八巻重雄氏

(会員) 榊原謙氏、深沢学氏

以上6名のご冥福を祈り、全員起立し黙祷を捧げた。

2. 理事改選審議：安河内理事長

審議に先立ち、安河内理事長より今期2年間の活動について統括がなされ、理事の協力に対し謝辞が述べられた。

また、2015年5月の理事選挙開票において下記の10名が当選した旨、報告がされた。

市田蒔子(富山大学)、角秀秋(福岡市立こども病院)、坂本喜三郎(静岡県立こども病院)、白石公(国立循環器病研究センター)、住友直方(埼玉医科大学国際医療センター)、富田英(昭和大学横浜市北部病院)、三谷義英(三重大学)、安河内聡(長野県立こども病院)、山岸敬幸(慶應義塾大学)、山岸正明(京都府立医科大学)

また、同年6月に開催した当選者による会議の結果、推薦理事として下記の10名を選出した旨と、安河内聰現理事長が理事長として選出された旨、報告がされた。

市川肇(国立循環器病研究センター)、岩本眞理(済生会横浜市東部病院)、小山耕太郎(岩手医科大学)、賀藤均(国立成育医療研究センター)、鎌田政博(広島市立広島市民病院)、鈴木孝明(埼玉医科大学国際医療センター)、土井庄三郎(東京医科歯科大学)、野村裕一(鹿児島大学)、檜垣高史(愛媛大学)、朴仁三(東京医科歯科大学)

▶ 理事長および新理事について全会一致で承認された。

また、副理事長は定款第14条2項により理事長の指名によって角秀秋現副理事長が指名された。

▶ 副理事長について全会一致で承認された。

また、新監事として、中西敏雄理事、佐野俊二理事、佐地勉理事を理事会から推薦したい旨、提案がされた。

▶ 監事推薦について全会一致で承認された。

3. 総務報告：佐地理事

1) 会員数の動向について

昨年から137名増加しており、総会員数は2,853名であること、会費未納による除名者について報告がされた。

4. 財務報告：坂本理事

1) 学術集会会計について

坂本理事より、学術集会の収支が学会収支に組み込むことになっていること、東京都の税務署で報告して最終判断していることについて確認がされた。

2) 2014年度決算案報告と承認

坂本理事より、2014年度決算案の提示があり、以下のような説明がされた。

(収入) 会費値上げによる収入の増加(800万円)、著作権収入の増加があった。雑誌オンライン化による掲載広告料収入は減少した。

(支出) オンライン化による雑誌印刷費、発送費用の削減がされた。ガイドライン300万は完成が来年度に持ち越したため、支出がなかった。委員会支出は増加した。選挙管理委員会が予算計上されていなかった。学術費用は徐々に増加している。

(収支) 実質30万円程度の黒字となっている。会費収入増加分(800万円)があった上で、収支同等になった。会員への説明としては、会誌発行(ニューズレター含め)事業や交換留学制度、顕彰活動など、学術関係の経費を増加させていることを強調したい。学術集会の黒字分を組み込んで収支バランス取れた状態である。

続いて八木原俊克、新垣義夫両監事より、2014年度の会計報告について適正であることを確認した旨、報告がなされた。

- ▶ 2014年度決算について全会一致で承認された。

3) 2015年度予算案提案と承認

坂本理事より、2015年度予算案の提示があり、以下のような説明がされた。

(収入) 会誌広告収入は入りにくくなるため、ホームページバナー等の獲得努力をしたい。専門医は第1期合格者の更新があり750万円程度の更新料収入がある見込み。

(支出) 会誌発行費用の軽減は500万円程度と思われる。委員会、専門医経費は前年並みと予測している。

- ▶ 2015年度予算について全会一致で承認された。

5. 持ち回り理事会決定事項報告

安河内理事長より、前回の理事会以降において持ち回り理事会にて承認された事項について報告がされた。

- ・「製薬名・商品名の入ったバナー広告の掲載」 承認 (承認日：2015年5月15日)
- ・「第5期専門医試験問題費用負担について」 承認 (承認日：2015年5月15日)
- ・「株式会社国際文献社に新事務局を委託することについて」

承認 (承認日：2015年6月26日)

6. 報告事項

< 学術集会会長報告 >

- 1) 第50回会長(2014年)会計報告：佐野俊二会長(岡山大学)

第50回学術集会(2014年)の佐野会長より謝辞と会計報告がなされた。

- 2) 第51回会長(2015年)：佐地勉会長(東邦大学)

第51回学術集会の佐地会長から学術集会開催にあたり会員の協力に謝辞が述べられた

- 3) 第52回会長(2016年)：小川俊一会長(日本医科大学)

第52回学術集会(2016年)の小川会長より会期は2016年7月6日(水)～8日(金)、会場は東京ドームホテルであること、進捗状況について報告がなされた。

- 4) 第53回会長候補(2017年)：坂本喜三郎先生(静岡県立こども病院)

第53回学術集会(2017年)の坂本会長より会期は2017年7月20日(木)～22日(土)、会場は静岡コンベンションセンターを予定していることについて報告がなされた。

<委員会からの報告・審議事項>

各委員会委員長より下記の通り報告がされた。

- 1) 将来計画委員会(総務委員会に発展解消)：安河内理事長(委員長)
 - ・財務、総務も入った総務委員会に発展的解消予定である。
- 2) 学術委員会：小川理事
 - ・データベース管理のためのデータベース委員会（仮称）を計画している。
 - (1) 心血管疾患の遺伝子疫学委員会：山岸(敬)理事
 - ・先天性心疾患の全国サーベイランスは各施設が倫理委員会を通すことが問題となるため、修練施設・施設群の診療実績として先天性心疾患の数を報告することを義務化し、数の把握のみをすることとなった。協力員としてご協力いただけるようにしていただいているが、なかなか協力員が集まらない。広報の仕方を考えたい。
 - (2) 形態登録委員会：小川理事
 - ・今年は標本展示に加えて講演も行う予定である。
- 3) プログラム委員会：丹羽理事
 - ・学会本体と学術集会の役割分担が明確になった。学術集会時に学会本体が主催するものに関しては学会から支出分担を決めて支出することとなった。分科会などは分科会の主催者の負担になる。負担金額は学術集会会長の裁量による。医療安全セミナーの講師謝金は学術集会側が支払う。
- 4) 学会雑誌編集委員会：白石理事
 - ・1年半から2年後にアジアを代表する英文誌発行を目指す。ガイドラインは pdf 化して雑誌に載せる。News Letter に広告を募集して、雑誌広告収入の減少を最小限に収める。
- 5) 広報交流委員会：中西理事
 - ・YouTube を使っての一般向け配信（60 万円で 5 コンテンツ作成）したい。
 - 一般の人を対象に You Tube を使った広報を行うことが全会一致で承認された。
 - ・HP は事務局移転に伴い、メディカルトリビューンから国際文献社に移行する。
 - ・今年の 3 カ国フォーラムは天津にて 10/29、30 に行われる。中国での開催時にいろいろと問題が多い。今後東アジアの国々へ参加を広げるのか、発展的解消に向かうのか、Business Meeting での提案内容について検討したい。
 - 下記の意見が挙げられた。
 - ・他のアジア諸国からの参加者が増えている。発展的に広げる方向が良いのではないか。
 - ・中国の事情なども考えると、企画しなおすべく再検討が良いか。
 - Business Meeting では、東アジア諸国を加えていくような発展的拡大を提案することが、全会一致で承認された。

- ・ AEPC との若手医師の交流事業を AHA とも同様に行うことを提案したい。
 - 全会一致で承認された。
- ・ World Congress Istanbul Joint session は 1 session 単位で購入する(60 万円程度)こととなっている。
 - 学会で購入することが全会一致で承認された。

6) 学校心臓検診委員会：住友理事

- ・ 学校検診の Outcome についての調査を評議員へのアンケートとして行いたい。
 - 調査を行うことについて全会一致で承認された。
- ・ 日循のガイドラインは作成に 2 年の予定であったが、1 年で完了する予定である。これにより学会の分担金が削減されることとなった。

7) 専門医制度委員会：富田理事

- ・ 新専門医制度のサブスペシャリティについてはまだ未確定である。

8) 保険診療委員会：賀藤理事

- ・ 保険診療報酬改定に向けて本学会からは、①心カテーテル検査料の外付け、②胎児心エコーの複数算定、③心房中隔欠損作成術の新生児加算、④肺動脈弁の経皮的穿通術の新規承認、⑤心疾患児の NICU 加算日数の延長を申請している。このうち⑤が年間 2.5 億円になり、影響が大きい。

9) 臓器移植委員会：白石理事

- ・ ベルリンハート EXCORE が承認され、8 月中には保険償還される。それに伴い実施施設基準に見合う施設は登録してほしい。HP に載せる。
- ・ 重症心不全コンサルタント窓口を設置し、重症心不全がクラッシュする前に日本全国で協力してメールと電話でサポートしていきたい。
 - 重症心不全コンサルタント窓口を設置することが全会一致で承認された。
 - 下記のような意見があげられた。
 - ・ 小児の脳死判定を行う専門医が不足している。トレーニングを受けて、小児科学会の HP に登録してほしい。
 - ・ 小循の HP に脳死判定のセミナーの積極的案内を載せる。またセミナーを開くように計画を立てる。総務委員会で検討することとする。
 - ・ 「左心系脱血が 5 年間で 3 例必要」は無理では。(山岸正理事、檜垣理事)
 - ・ 単心室での右心房脱血も左心系脱血に含めてよいことにしたので、対応できる施設が多いと判断した。心房脱血、大動脈送血であれば許される。(角理事)
 - ・ 施設基準は厳格にしておいたほうが良いという意見で成立した。(中西理事)
 - ・ 現実問題として 1 個につき、補助も含め駆動装置が 2 台必要である。そして 1 台 4 千万円であり、少なくとも最低 2 台は購入する必要がある。現時点では全国で 7-

8台のみである。

10) 地方会委員会：小山理事

・様式 1-4 として参加証規格を定め、これに伴い細則に第 6 条の追加をした。地方会に認定番号を設けた。

➤ 様式 1-4 の制定と細則の変更が全会一致で承認された。

11) 顕彰委員会：三谷理事

・功労賞の選考方法について、候補者をあげて頂いた後に一定期間検討し、選出する方法にしたい。

➤ 全会一致で承認された。

・Miyata Foundation Award の対象は国内研究のみとしたい。

➤ 全会一致で承認された。

12) 倫理委員会：土井理事

・倫理指針が改定されたために規定の訂正を行いたい。

➤ 全会一致で承認された。

<その他の審議事項>

1) 定款および定款施行細則改定について 総務委員会：安河内理事長

以下の事項に伴う定款と細則の変更を行うことが安河内理事長から説明された。

- ・学会事務局の所在地を変更すること。
- ・電子メール審議でも表決ができるようにすること。
- ・監事を 3 名以内にする。
- ・「幹事」を「庶務」に変更すること。
- ・委員会の解散について細則に加えること。

➤ 以上の変更について全会一致で承認された。

2) 評議員推薦について 総務担当：佐地理事

佐地理事より、25 名の評議員申請者があり、申請に不備がないことが報告された。

➤ 全員の申請が全会一致で承認された。

3) 名誉・特別会員の推戴について 総務委員会：安河内理事長

安河内理事長より、下記の会員について、名誉会員・特別会員への推戴が提案された。

(名誉会員) 新垣義夫、加藤木利行、中西敏雄、丹羽公一郎、吉永正夫

(特別会員) 岡田知雄、荻野廣太郎、岸本英文、熊手宗隆、小林宗光、篠原徹、西川敏郎、

西島信、野本慎一、深谷隆、藤原直、前田正信、米坂勸

➤ 全会一致で承認された。

8. その他

1) 会長候補者について

下記の通り確認された。2018年開催の第54回会長は、2016年1月開催の理事会にて決定される。

＜立候補者・申し込み順[申込日]＞

- ・富田英先生(昭和大学横浜市北部病院)[2012/01/17] 61歳(1954/02/28生)
- ・住友直方先生(埼玉医科大学国際医療センター)[2013/01/04] 60歳(1955/02/04生)
- ・安河内聡先生(長野県立こども病院) [2013/01/10] 59歳(1955/09/12生)
- ・白石公先生(国立循環器病研究センター) [2013/01/15] 58歳(1957/02/10生)
- ・山岸正明先生(京都府立医科大学) [2014/06/28] 58歳(1956/09/09生)
- ・石井正浩先生(北里大学病院) [2015/03/23] 56歳(1959/06/14生)

9. 閉会：

以上をもって本日の議事を終了し、議長から議事への協力に謝辞があり、閉会した。

以上の議事の経過および結果を明らかにするため、この議事録を作成し議長並びに議事録署名人がこれに押印する。

2015年7月15日

議 長 安河内 聡

議事録署名人 住友 直方

議事録署名人 土井庄三郎

(以下余白)